

○新型コロナウイルス感染症の拡大防止策へのお願い

保育実習の実施にあたり、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から下記の点につきましてご理解・ご協力をお願いいたします。対策を講じながら素晴らしい実習に繋がりますよう各園とも受け入れ準備を進めています。ぜひこの機会に保育の魅力の一端を感じていただけましたら幸いです。楽しみにお待ちしております。

1. 濃厚接触者を抑え、感染を防止するためのお願い

ご本人やご家族が、濃厚接触者または、PCR 検査対象者に特定された場合は速やかにお知らせください。また、2 週間以内に一緒に食事をしたり、15 分以上一緒に過ごしたりした人が、濃厚接触者 又は、PCR 検査対象となった場合には、必ず、すぐに受け入れ園にご連絡いただき、結果が出るまで実習を控えてください。

2. 日常的なお願い

◆「熱があるな?と思ったら・・・」体調管理についてのお願い

- 体験前の体温測定の実施
37.5℃以上発熱がある場合または、呼吸器症状が認められる場合は実習を控えてください。
- 実習中の体調管理について
実習中に発熱(37.5℃以上)や体調不良を感じた時は、速やかに申し出てください。
- 実習再開の目安
実習を再開をする目安は「解熱後 24 時間以上が経過し、呼吸器症状が改善傾向となるまで」です。

◆「新型コロナウイルス感染症」は、大半が大人から子どもへの感染と言われているため、保育実習中は、次のご協力をお願いいたします。

- マスクの着用
- 手指消毒の徹底
- 咳エチケット、大声での会話、園児と共の飲食などの飛沫感染対策
- 三密回避の実践(人との間隔、こまめに換気、握手・ハイタッチの自粛などありますが、保育実習では接触はつきものです。各園の指示に従いましょう。)
- 実習時間外の手洗い・うがいの励行、家族の健康管理
- 実習時間外の不特定多数が集まる場所、換気の悪い密閉空間、近距離(互いに手を伸ばして届く距離)での会話、会食、公共交通機関では混んでいる車両を避けるなどの対策を各自で講じましょう。
- 地域の感染状況に留意し、感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控えましょう。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモしましょう。接触確認アプリを活用するのも有効です。
- その他、各園が講じている対策を順守しましょう。

3. 休園となる場合

実習中であっても新型コロナウイルス感染症の発症者が確認された場合は休園になります。また、台風等自然災害が発生した場合も臨時休園となる場合があります。その際の体験園との連絡方法について、あらかじめ決めておきましょう。メールの場合は、受信できるよう設定の確認をお願いします。

4. 健康観察記録の提出

健康観察記録の提出をお願いします。様式は、後日お渡します体験記録簿の中にあります。実習の 2 日前から実習期間が終了する最終日までの健康観察の情報を正確に記入しましょう。